

エリア ウエツブ

峡東教育事務所
 地域教育支援スタッフ
 TEL 0553-20-2737
 FAX 0553-20-2733

◎ 回覧・配布をお願いします。増し刷り配布はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ ご意見・ご感想はこちらまで Email : saegusa-aszn@pref.yamanashi.lg.jp

〈第1回子育て講演会報告〉

『勇気づけの子育て入門』

講師：坂本玲子先生（山梨県立大学准教授）

峡東地域教育推進連絡協議会・峡東教育事務所共催による「第1回子育て講演会」が、坂本玲子先生を講師に招いて、7月4日（金）山梨市民会館において開かれました。189名の参加者で講演会場は埋め尽くされ、坂本先生の熱意とユーモア溢れる講演に聴き入っていました。

(1) 乳児期・愛情と信頼感、集中力の獲得
 泣くことによって親に必要とする助け（授乳・おむつ交換など）を求め、それが満たされることで親に対する信頼感が育まれる。一方、ひとりで何かに夢中になっている時は、集中力を獲得しているときである。その時に、抱き上げるなどして夢中になっている遊びを中断しないようにする。遊びによって得られる集中が途切れてしまい、遊びから得られる脳の発達が阻害されてしまうからである。

(2) 2歳児・自立へのジャンプ
 ”いや！”という言葉をしばしば発する時期。それは自分自身で何かをしようとしているにほかならない。その活動は、散らかしたり汚したり、危うかったりすることから親は子どもの活動を奪ったり止めたりしてしまいがちである。安全の範囲内で、10のうちいくつかは「そう、自分でしたいのね。」と、したいようにさせて失敗経験をさせることが大切。そして、いくつかの失敗の果てに「できたね。よかったね。」という言葉かけることで、子どもは「ぼくはできるよ！」という『勇気のパワー』を得ることができる。

(3) 自立への道・7才に至るまで
 4・5才になって友達ができたら児童期。自分たちでルールづくりができ、自分たちの力で遊べる。親の役割は、その遊びをじゃませずに生かすようにすることである。また、「チンチン」、「パイパイ」、「ウンチ」などの言葉を発するようになるが、子ども自身これらの言葉の持つ危うさを感じ、ある種の緊張感を持って使っている。親は叱るのではなく、ユーモアを持った遊び感覚で自然となじんでいくようにさせたい。これらの言葉は生きていく上で必要な興味や関心であって、不潔なこと、禁忌なものといった感覚を持たせないようにする。

入学期前後の勇気づけは、自分のこと（起床

する、就寝する、風呂に入る、学校へ行く、宿題をするなど）を自主管理させることにある。起床を親が手助けするのは、母親が子どもの「起床する」という仕事を奪うことになる。もし、「遅刻した」としても、その失敗経験から子どもは「明日はどうすれば遅刻せずに起床するか」を考えるようになる。そこに、自分の仕事として自主管理能力が育って「ぼくはできるよ！」という『勇気のパワー』を得ることができる。

(4) 自立への道・9才は批判する
 「お母さんだって片づけが終わってない。」などと、大人の行動を批判するようになるが、順調に成長している証拠である。その批判に対して、「何生意気言っているの！」と大人の権威で抑えようとする、子どもは「自分は間違ったことを言っていない。」と心に不満を持ち、大人への不信感が芽生える。

「いいこと言ってくれたわ。これからも気がついたら言ってね。」と返したら、「大人はちゃんと受け止めてくれた。私もやらなきゃ。」と、自分の行動を内省する力が育ち、自分自身の行動に責任を持つようになる。

(5) 10才で子育て終了宣言
 10才でほぼ大人と同程度の精神年齢に達し、人間としての基本的な性格は決まる。そして、この時点で子育ては終了する。一般の大人の人も精神年齢の上では10才児と同じであって、違うのは経験と知識である。大人は、経験と知識で大人の振る舞いをするが、感情が高まったときには10才程度の精神年齢が顔を出す。

近年、親や周囲の大人が子どもに手をかけず

ぎることが多くなって、子どもたちは大人の言うとおりにしていれば一応うまく人生は進んでいくと思っている。そこには、失敗経験から生じる悔しい惨めな感情を味わうこともなければ、「やった!」「できた!」という成功経験から生み出される『勇気のパワー』を獲得することもない。

『自分で生きているという実感』がない若者は精神年齢が未発達である。所かまわずにつばを吐く、地べたに座り込むなどの行動は幼児期に外遊び・群れ遊びが十分にできなかったことの現れである。自己管理ができなく生活能力がない若者は、後片づけの苦勞を知らないから、平気でガラスを割ったりゴミを散らかしたりする。

『自分で生きているという実感』がない若者

は「生まれてこなければ良かった。」「やり直したい。」と、自分の存在意義を確認できず自身を攻撃（リストカットなどの自傷行為）したり、他者に責任を転嫁して他人に危害を与える行為へと発展することも出て来る。また、将来、こういう若者が大人になったとき、わが子の教育の不首尾を他の誰かのせいにするクレイマー型親が出現する。

次の3点は『幸福の条件』であり、同時に『子育ての目標』でもある。

- ①自分を好きである。
- ②自分は役に立つ人間だと感じる。
- ③他の人たちを信頼できる。

私たちはこの3つを実感できているだろうか。

自殺や他者への危害事件が日常的に報道される昨今、なぜこのような事件が繰り返されるのか、確たる原因と対処法が掴めないまま暗うつな気分が社会全体を覆っています。しかし、この困難な社会現象が、教育あるいは子育ての方法に起因しているのではないかということは、誰もが共通した認識であると思います。「科学的な分析に基づいた具体的な話が良かった。」「うなずける話の内容で、10歳までの子育ての大切さを実感した。」「内容の深さと広がりのある展開に感動した。」など、講演後のアンケートにもあるとおり、坂本先生の講演は、まさにその疑問に対して真っ向から取り組み、原因の解明と適切な子育ての指針を与えてくれるものであったと思います。

『スポーツに親しんでいますか』

今年もまた暑い夏がやってきました。そして、子どもたちにとっては、楽しみにしていた長い夏休みを迎えます。ところで、ここ数年、子どもの体力の低下や肥満などの生活習慣病の増加が社会的な問題となっています。また、スポーツをする子としない子の二極化が進んでいるとも言われています。今、これを読んでくださっている皆さんの中にも、ご自分のお子さんの健康や体力について心配され、この夏休みに水泳や野外活動などの計画を立てている方もいらっしゃるかもしれません。しかし、このことは、子どもに限ったことではなく、大人にも当てはまることでしょう。

そこで、スポーツをしたいけれど、自分に合ったクラブや施設がない・機会がないと思っている方にお知らせです。現在、国や県のスポーツ振興策の一つとして「総合型地域スポーツクラブ」の設立が各地で進められています。「総合型地域スポーツクラブ」って何?・・・とおっしゃる方のために、ご説明したいと思います。

「総合型地域スポーツクラブ」とは、

◇地域におけるスポーツ振興のため、「だれでも・いつでも・いつまでも」スポーツができる環境づくりをめざしています。

◇子どもから高齢者まで、初心者からトップレベルの競技者まで、地域のだれもが手軽にスポーツに親しむとともに、交流することのできる場です。

◇単一のスポーツだけでなく、いくつかの複合種目で運動できるクラブがほとんどです。

◇家族のふれあいや世代間交流による青少年の健全育成や学校週五日制の子どもたちの受け皿としても役立っています。つまり、「スポーツをしてみようと思う皆さんが、年齢や性別や経験や能力にとらわれず、生涯にわたってスポーツに親しむため、自分たちが主役となり、主体となり運営していく地域に開かれたスポーツクラブ」と考えていただくのがよいでしょう。

今年の夏は、冷房のきいた室内だけでなく、スポーツで汗を流して乗り切ってはいかがでしょうか。次号から、それぞれのスポーツクラブについて詳しく紹介していく予定です。

現在、峡東地域での「総合型地域スポーツクラブ」の設立状況は次のようになっています。

- | | | |
|--------------------|-----------|---------------|
| ■山梨市「アストリースポーツクラブ」 | 連絡先：村松 俊哉 | 0553-44-5324 |
| ■甲州市「甲州スポーツ倶楽部」 | 連絡先：中村 実 | 0553-32-1699 |
| ■笛吹市「わいわいスポーツクラブ」 | 連絡先：桑原 明 | 090-3346-5999 |



山梨ことぶき勸学院（東山梨学園・東八代学園）

山梨ことぶき勸学院は、生涯学習の理念に立ち、高齢者の学習ニーズに応えるとともに、生きがいづくりと活力に満ちた地域づくりの指導者養成を目的として、昭和62年4月に開講しました。

峡東地区には、東山梨学園、東八代学園の二つの地域学園があります。東山梨学園では66名、東八代学園では54名の方が学習しています。

勸学院生は地域学園での講座、中央ふれあい行事、選択講座等の学習や、クラブ活動に励みながら、生きがいづくりや仲間づくり、地域貢献活動に取り組んでいます。

過日、1年生は「一日研修」で、信州の鎌倉“別所”へ、文化財・史跡等の見学を中心とした修学の旅に出かけました。この一日研修と、地域貢献活動である小学校家庭科の授業支援のようすを勸学院活動の一コマとして紹介します。

一日研修（信州の鎌倉“別所”を訪ねて）

地域貢献活動（春日居小学校）



《東山梨学園1年生の皆さん》



《東八代学園1年生の皆さん》



《裁縫の授業支援のようす》

「ものづくり」と「ホスピタリティ」 ～山梨県立産業技術短期大学校～ 学校紹介（第一回）

山梨県は、首都東京に隣接し内陸型工業県として発展してきました。県内総生産のうち約1/4を製造業が占め、半導体製造装置や産業用ロボットについては全国でもトップクラスの産業集積地です。また富士山をはじめとした観光資源に恵まれ、年間4千万人を超える観光客が本県を訪れています。

「山梨県立産業技術短期大学校」は、こうした県内主要産業の製造業・観光業の実践的人材を育成するため平成11年に開校しました。そんな「山梨県立産業技術短期大学校」を、今回から3回に分けて紹介していきます。

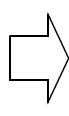


■ 教育の特色

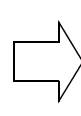
「山梨県立産業技術短期大学校」は厚生労働省認可の学校で、設置の目的から「実践的な教育」「少人数教育」「最新の設備」を教育の特色としています。

また、ひとりひとりの就職を、きめ細かく支援し、平成11年の開校以来就職を希望する学生の就職率は100%で、そのうち約9割の学生が県内企業に就職しています。

実践的な教育
少人数教育
最新の設備



実践的人材の育成



山梨県の
産業及び経済の
発展

産業技術短期大学校には「生産技術科」「電子技術科」「観光ビジネス科」「情報技術科」の4つの学科があり、修業年数は2年間、1学年の定員は100名で、「ものづくり」と「ホスピタリティ」を教育理念としています。

専	◆ 生産技術科	機械工学	精密加工技術	CAD/CAM	機械制御等
門	◆ 電子技術科	電子工学	回路の設計・製作	マイコン制御	等
課	◆ 観光ビジネス科	ホテル業・旅行業の専門的知識	企業実習	実地研修等	
程	◆ 情報技術科	プログラム	ソフトウェアの設計	ネットワーク技術等	

次回は学科の紹介・働く方への講座を紹介します。

■ 産短大へのお問い合わせ 山梨県立産業技術短期大学校 教務学生課
住所 甲州市塩山上於曾1308（JR塩山駅北口から徒歩7分）
電話 0553（32）5201
◆◆学校説明会8/22（金）どなたでも参加できます。◆◆

峡東地域の高等学校の情報紹介，2回目は石和高校です。

新たな歴史を刻め!!

～ 和高生の活躍～

山梨県高校総体 (5月7日～9日)

学校対抗総合得点【男子】 総合得点 13点 第10位(46校中)

学校対抗総合得点【女子】 総合得点 2点 第29位(47校中)



獲

優勝
ソフトテニス男子・ライフル射撃男子

得クラブ

得点

【男子】サッカー，弓道，自転車
【女子】ソフトテニス，バレーボール

H20県高校総体より 笛吹市石和中央テニスコート

H20県高校総体より 境川自転車競技場

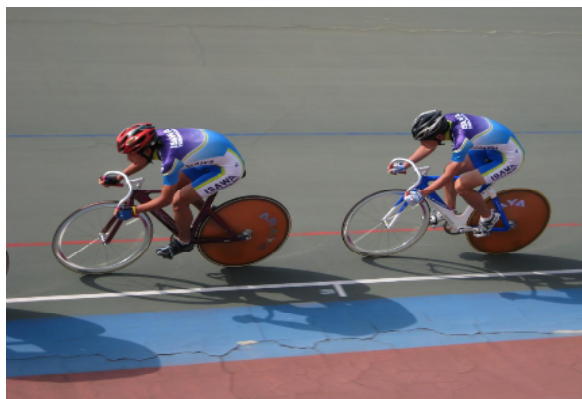
◇関東大会

ソフトテニス部男子 ソフトテニス部女子

自転車部

スクラッチレースで個人優勝，ポイントレースで個人4位，学校対抗得点でも第6位

ライフル射撃部男子，ライフル射撃部女子



◇全国高校総体出場

ソフトテニス部男子(8月1日～4日 埼玉県川口市)

自転車部(8月1日～5日 埼玉県さいたま市)

ライフル射撃部男子・女子(7月28日～31日 広島県安芸市)

◇全国高校総合文化祭出場

合唱部(8月10日 群馬県高崎市)

English Camp 国際教養科



5月13日から1泊で国際教養科1年生対象のEnglish Campが行われ，外国人講師3名が小グループに分かれてレッスンを行うなど「生徒少人数制による外国人講師の直接指導で1泊2日すべて英語漬けの生活をする。」ことを目的に行われました。

(生徒の感想)

- ・英語に対してかなりの苦手意識や抵抗ばかりがあったけれど，もっと英語について知りたいと思うようになりました。
- ・外国人との会話を身につけたから，外国人との会話に怖さを感じなくなったし，聞きたいこともスムーズに聞けるようになった。

・講師の先生方と，ビンゴやビリヤードなどゲームをして楽しかった。

和高祭が，「Youthful Day～青春の日々～」をテーマに7月18・19日に行われます。一般公開は19日(土)9:00～14:30ですので，ぜひご来場ください。

※ 先月号の記事の，SSWの職歴を甲州市役所・家庭相談員から 元・中央児童相談所職員，元県立甲陽学園職員に訂正します。一部地域に訂正が間に合わなかったことをお詫びします。